５　キャッシュ・フロー計算書について

本市下水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

（単位:千円）

	令和7年度	令和6年度	増減額
1　業務活動によるキャッシュ･フロー			
当年度純利益	1,140,591	543,333	597,258
減価償却費	4,206,032	4,115,791	90,241
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,206	17,524	△ 2,318
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,819	212	2,607
貸倒引当金の増減額(△は減少)	576	334	242
長期前受金戻入額	△ 1,902,145	△ 2,292,008	389,863
受取利息及び配当金	△ 1,205	－	△ 1,205
支払利息及び企業債取扱諸費	824,427	793,232	31,195
固定資産除却費	29,264	25,101	4,163
過年度損益修正損	6,978	－	6,978
減損損失	256,628	－	256,628
未収金の増減額(△は増加)	△ 8,815	259,238	△ 268,053
貯蔵品の増減額(△は増加)	214	282	△ 68
未払金の増減額(△は減少)	△ 51,181	194,350	△ 245,531
預り金の増減額(△は減少)	△ 22,465	△ 749	△ 21,716
小　計	4,496,924	3,656,640	840,284
利息及び配当金の受取額	1,204	－	1,204
利息の支払額	△ 824,426	△ 839,436	15,010
業務活動によるキャッシュ･フロー	3,673,702	2,817,204	856,498
2　投資活動によるキャッシュ･フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 4,003,213	△ 6,160,124	2,156,911
無形固定資産の取得による支出	－	△ 337	337
国庫補助金等による収入	1,546,076	3,531,476	△ 1,985,400
投資活動によるキャッシュ･フロー	△ 2,457,137	△ 2,628,985	171,848
3　財務活動によるキャッシュ･フロー			
一時借入れによる収入	750,000	2,000,000	△ 1,250,000
一時借入金の返済による支出	△ 750,000	△ 2,000,000	1,250,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	3,281,700	3,534,800	△ 253,100
その他の企業債による収入	127,400	138,300	△ 10,900
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 3,271,750	△ 3,369,542	97,792
その他の企業債の償還による支出	△ 438,688	△ 655,003	216,315
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金の返済による支出	△ 500,000	－	△ 500,000
他会計からの繰入による収入	－	495,143	△ 495,143
財務活動によるキャッシュ･フロー	△ 801,338	143,698	△ 945,036
資金増加額 （又は減少額）	415,227	331,917	83,310
資金期首残高	2,809,087	2,477,170	331,917
資金期末残高	3,224,314	2,809,087	415,227

キャッシュ･フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、３つの活動区分におけるキャッシュ・フロー（ＣＦ）で表される。

本年度は、使用料の改定や一般会計からの繰入金の見直し（増額及び資本的収入から収益的収入への充当先変更）により、業務活動によるキャッシュ・フローのプラス幅は増加した。一方、繰入金の充当先変更及び水道事業会計からの借入金の返済による支出のため、財務活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなった。

資金期末残高は 32 億 2,431 万 4 千円となり、前年度に比べて 4 億 1,522 万 7 千円増加している。